アクアバイオ学特論（一）（２単位）

担当者氏名　渡邉　研一、白井　滋、塩本　明弘、小林　万里、千葉、晋、瀬川　進、松原　創

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

我が国の食料自給率を高めるため、水産資源の有効かつ持続的な利用を進める事は喫緊の重要課題である。昨今の環境変動や漁獲努力の増加による資源の減少が懸念されるなか、水産資源の適切な管理や増養殖技術の改良などが図られている。本特論では、より応用的な資源学、増養殖学などをはじめ最新の水産生物学に関する知識を習得させ、特にオホーツク海における水産資源をいかにして守り育てていくかを考究する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）　ご自身のキーワードを記入してください

増殖　　資源　　養殖　　水産動物
海生哺乳類　　環境

◆授業の進行等について

	テ　ー　マ	内　　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1-4回	水産動物の増殖・資源（白井、千葉）	水産動物の増殖・資源に関する最新の研究論文を紹介・解説する。	各回に関する論文に目を通し理解しておく。
5-8回	環境と増殖業（塩本、瀬川）	沿岸域の環境と増殖業の関係に関する最近の研究論文を紹介・解説する。	
9-12回	水産動物の養殖（渡邉、松原）	水産動物の養殖に関する最近の研究論文を紹介・解説する。	
13-15回	海生哺乳類（小林）	海の高次捕食者である海生哺乳類に関する最近の研究論文を紹介・解説する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）
書名／著者／発行所（発行年）

なし

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等
書名／著者／発行所（発行年）

なし

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート、口頭試問、プレゼンテーションにより総合的に評価する

◆オフィスアワー

各教員に確認してください。

◆その他受講上の注意事項

各教員からの指示に従って下さい